

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

2021年12月26日 丸山明子

1. 開催日時：令和3年12月25日（土） 13時～14時半
2. 開催場所：福岡市科学館 4階交流室1
3. 関係団体等：日本農芸化学会主催、日本学術会議農芸化学分科会共催

4. 役割

司会：藤瀬 雅子（福岡市科学館）

サイエンスコミュニケーター：大森 悠佳（福岡市科学館）

挨拶：本城 賢一（九州大学農学研究院 准教授・日本農芸化学会 広報委員）

挨拶：丸山 明子（九州大学農学研究院 准教授・日本学術会議 連携会員）

講師：善藤 威史（九州大学農学研究院 准教授）

5. 概要：

「乳酸菌が作る抗菌物質・バクテリオシン ～食べるだけではもったいない乳酸菌の力～」

乳酸菌は、種々の発酵食品を通じて、私たちの健康により効果をもたらす。乳酸菌には、私たちの健康維持の他にも多くの有用性がある。抗菌作用もその一つであり、演者はペプチド性の抗菌物質バクテリオシンについて研究を進めている。乳酸菌のバクテリオシンは、安全な抗菌物質として、食品の保存から飲み込める歯磨き粉まで広く利用されており、今後ますます商品開発が進む兆しがある。講演では、乳酸菌が作るバクテリオシンの働きや飲み込める歯磨き粉などへの利用例が紹介され、乳酸菌とバクテリオシンの今後の可能性についても議論された。

参加者を高校生以上に限定したこともあり、高校生が数名で残りは中高年という年齢構成であった。熱心にメモをとりながら聞く姿勢が見られ、特に乳酸菌と健康に関する質問が多く出された。サンプル展示も非常に盛り上がり、農芸化学分野の研究が人々の生活にもたらす恩恵について、ご理解をいただけたように思う。

開催にあたり、科学館スタッフの方々が参加登録や当日の会場設営、受付、進行などを担って下さった。講演中も一般の方々の理解が難しそうな点についてサイエンスコミュニケーターからの質問という形で理解を促して下さった。サイエンスカフェは一般の方々とのコミュニケーションが求められる場であるため、こういった専門家には行き届かない部分についての連携がはかれる事は意義深いと感じた。

6. 参加人数：19名（講演者等を含まない人数）

講演者等：7名（講演者、挨拶、司会、サイエンスコミュニケーター、など）

7. 特記事項：

なし